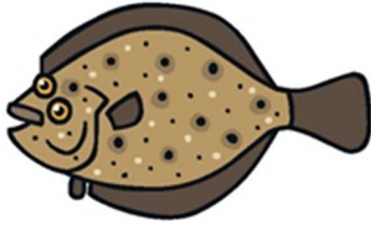


ヒラメ



- ・ 砂浜域に生息し、銚子～富津の沿岸で小型機船底びき網、刺網、定置網などにより漁獲される。
- ・ 1歳で全長35cm、2歳で45cm 体重1kgに成長し、3歳以降は雌雄差が拡大し、5歳では雄が60cm 体重2.3kgに対して雌では70cm 体重3.9kgに達する。
- ・ 産卵期は3～6月。
- ・ 1982年から種苗放流を実施。
- ・ 漁獲量変動・移動特性等から、勝浦市以北は太平洋北部系群、鴨川市以南は太平洋中部系群に区分される。

資源評価

太平洋北部系群

(勝浦市以北)

水準：低位

動向：減少



太平洋中部系群

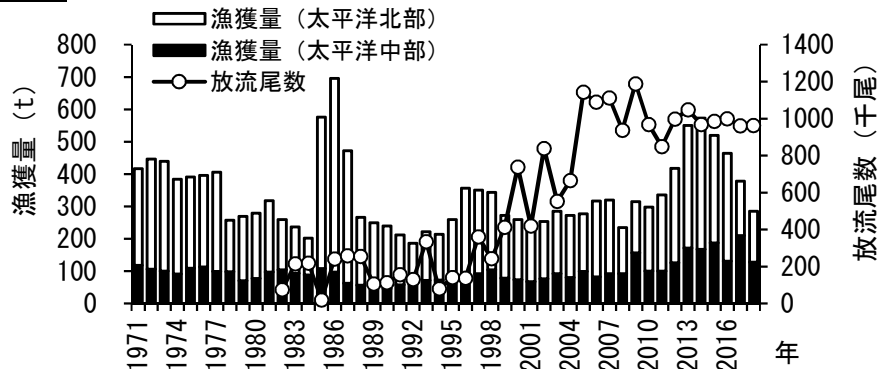
(鴨川市以南)

水準：中位

動向：減少



漁獲量



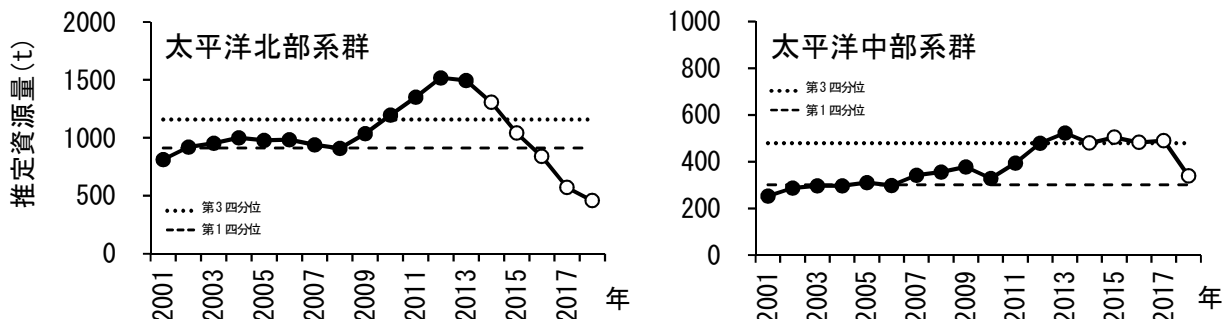
千葉県におけるヒラメ漁獲量と放流尾数の経年変化
(漁獲量は千葉県農林水産統計、漁業・養殖業生産統計)

1971年以降、漁獲量が一時的に増加した1985～1987年及び2013～2015年を除き、300t前後で推移。2018年は285t漁獲された。

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(資源量)から4分位により評価した。
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は、漁獲物測定、漁獲統計資料から推定される1歳魚以上の資源量で判断した。
- ・ 2018年の資源水準は太平洋北部系群で低位、太平洋中部系群で中位水準にある。最近5年間の資源動向は両系群で減少傾向にある。



太平洋北部系群及び太平洋中部系群の推定資源量の経年変化

資源管理の取り組み

- ・ 小型魚(全長30cm未満、底びき網は25cm未満)の再放流など漁業者による自主的な資源管理が行われている。また、関係機関が連携し、種苗放流を実施している。